

(6) 図書館教育

1 . 目 標

図書に親しみ、読書を通して知識を広め、豊かな人間性を培う。

2 . 努力点

- (1) 読書の楽しさが分かり、進んで本を読む子どもに育てる。
- (2) 本を大切にし、図書室では望ましい態度で利用できる子どもに育てる。
- (3) 図書室の整備・充実をはかり、本に親しみ読み浸れる環境づくりをする。

3 . 実践計画

< 読書指導 >

- ・指導時間の割り当てをする。
- ・学年や目的に合った読書指導をする。
- ・読書感想文の指導をする。

< 図書室利用の留意点 >

- ・読書の時には、本をていねいに扱う。
- ・図書室では、静かに読書する。
- ・貸し出しの時は、図書貸し出しカードを利用し、決められた日（1週間以内）までに返却する。（一人3冊まで）

< 活動内容 >

- ・全職員が児童の学年発達段階に応じて、図書の選択をし、購入する。
- ・読書感想文や読書感想画の公募に応募する。
- ・学級文庫として各学級に毎月本の貸し出しをする。
- ・火・金の昼休憩に低・高学年図書室を開放する。
雨天時は、低学年・高学年図書室も開放する。

(7) 視聴覚教育

1 . 目 標

視聴覚教材及び機器を活用し、豊かな心情を育てるとともに学習の効率をあげる。

2 . 努力点

- ・学習の目的・内容・学習の過程を十分考えて計画的に位置づける。
- ・学校放送番組の活用をはかる。
- ・機器の整備と保管。